

(福) 日本聴導犬協会 2023 年(令和5年)度 事業計画書

2023 (令和 5) 年 4 月 1 日～2024 (令和 6) 年 3 月 31 日まで

2023 年 事業計画書

I

I. 聴導犬・介助犬事業

ご報告:①訓練中 4 名様のうち、2022 年度認定試験受験者は2名様。2023 年 3 月 31 日までに結果決定予定。

②訓練環境の整備:東京支部周辺での高度社会化と訓練(バス乗車、スーパー)が許可されました。飲食店、スーパーなどでの訓練環境整備が必要。

(1) 予定:2023 年受験予定は 3 名様(問合せは 31 名様:添付資料1)。

2023 年度は訓練中 4 名のうち、2 名の認定試験受験。

聴力ペット手伝い犬希望の 1 名様も、聴導犬にトライされる予定です。

※状況:他の聴導犬希望 4 名様のうち 2 名様は 2 年間の訓練を受けられましたが、2 名様自身のご事情で 2024 年度に延期。介助犬希望 1 名様はご体調で断念。聴導犬 2 名は継続中。あらたに、介助犬希望 1 名が面接、体験実施済み。

(2) 予定:リクルーティングのために、SNS(Facebook, Twitter, Youtube)の充実:20 年度は、「コロナによる孤立感や、他人に頼りにくい状況が生まれたこと」で、希望者がいったん増加。しかし、長期に続くコロナ禍により、面接も訓練もできなかった。21 年度は問合せが減少している。対策として、Zoom 面接などをさらに充実させる→そのために長野県共同募金に wifi の改善用助成金を申請中。

(3) 隔絶されたユーザーさんとのコミュニケーションには、リモート会議(手話通訳付き)などを行い、今後も増やしていく。

II. インターネット関連 予定

(1) 名簿管理ソフトは継続的な顧客リストの整理の充実(事務方の 3 名が担当)をさらにバージョンアップ。

(2) 会員限定特別 Facebook ページを開設。投稿数のアップなどにより、その充実を図った。

(3) メルマガ配信:会員 1200 名→1500 名様

(4) 23 年度:100 万円程度を目標。大規模のクラウドファンディング(CF)はせず、シンカブルでバースデイドネーションを実施予定。(22 年度は ① 6 月～302,657 円 ②10 月～362,166 円。

③キャンプファイヤー10月～11,025,747 円 合計: 11,690,570 円)

(5) 23 年度:Zoom 講義 および大学、専門学校などでの講義 3 校→6 校での講義予定

(6) Youtube で、しつけ講義動画配信中。継続に配信していく。

現在、申請中:長野県共同募金に「Web での聴導犬&介助犬講演会を全国の小中校への配信用設備」への助成

(7) 新規支援の形:貴金属やゲームなどの寄付支援が増えています。

(8) Web 研修:Zoom 手話=学院生およびスタッフ 「手話 3 級試験に 2 名が合格。ソーシャライザー 5 名様と学院生 3 名。スタッフ 5 名がユーザー 1 名受講中。

■さらに充実させる SNS 活動

- (1) 聴導犬普及動画を積極的に配信：申請中：長野県共同募金に「Web での聴導犬 & 介助犬講演会を全国の小中校への配信用設備
- (2) オンラインセミナーを増やす：例 22 年度「クリステル・ヴィ・アンサンブル財団主催。4 回の配信」継続的に閲覧可
- (3) 動画「犬の問題行動の治し方」を限定 youtube で配信中
- (4) 施設内 Wifi 環境の安定化

III 本部と事務所：仔細文末

(1) 東京支部<認可：2018 年 2 月～>

- ・構成：施設長：MAYUMI (社会福祉法人施設長資格取得)。訓練業務委託 1 名
- ① 使用数：100 回 (22 年度 34 回。19 年度 156 回)

(2) 関西事務所：支部候補地を検討中

- ・施設長：Y 様。訓練業務委託：0
- ① 使用数：20 回 (22 年度 5 回)

(3) 本部：

- ・人員：訓練スタッフ：12 名 定期ボランティア 10 名 (22 年度 10 名。21 年：訓練スタッフ：8 名 (含：本部 5 名、業務委託 1 名。東京 1 名、関西 1 名、愛知 1 名) ・学院生：3 名 ・犬ケア：2 名 ・事務スタッフ：4 名。施設整備：1 名)
- ① 使用数：365 日稼働のうち
- ・使用者数：2000 名 (22 年 1694 名。21 年 1053 名。20 年 779 人)
- ・ユーザー利用：40 日 30 名様予定 (22 年 29 日 49 名。21 年 49 回 (うち 4 回希望者面談&体験含む。20 年 38 回)
- ・パピークラス&Pro-Dog School：17 回 (21 年 11 回)
- ・講演会&相談室 (26 回)+・聴導犬クラブ (5 回) 31 回 (21 年 8 回)
- ・職場体験&研修：7 校 36 名 (21 年 4 校 30 名。20 年 5 校 62 名)
- ・調査&研究：3 回 (21 年 5 回。20 年 14 回)
- ・取材：10 回予定 (22 年 9 回、21 年 10 回。20 年 5 回)

◆収支

- ① CF：23 年度：100 万円予定 (22 年度は 3 回のクラウド・ファンディング (CF) を社会情勢に合わせて実施：3 回で計 11,690,570 円 ※21 年 10,133,393 円。20 年 9,131,300 円)
- (1) 暫定収入：23 年 総額：約 6300 万円
- (2) 暫定支出：総額：約 6200 万円

	<p>◆候補犬・協会所属犬</p> <p>(1)協会犬予定: 35頭 (22年31頭 21年34頭)</p> <p>(2)新規候補犬予定: 10頭 (22年7頭 20年5頭)</p> <p>(3)聴導犬候補犬ネットワーク 21カ所目標(※22年度まで 全国の動物愛護センターならびに保護団体と繁殖家から合計20カ所。特に沖縄ワンズ・パートナーからの協力を得ている)</p> <p>(4)新家族 (補助犬にならない候補犬の里親)リストを作成予定</p> <p>(5)繁殖:より良い候補犬繁殖は、英国聴導犬協会での研修を2019年の6月に実施済み。身体的&気質的に良い子がいた場合に、繁殖を実施する予定</p>
II	<p>公益事業(普及&研修など)</p> <p>(1)デモ&講演会:50回予定 (22年26回。21年35回(含5回がバスツアー))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学&専校での講義:5校予定 (22年度3校。21年4カ所。20年5校) ・講演会&講義&研修など:35回 (22年度23回。21年82回。20年度94回。19年度291回) ・職場体験&研修:8校50名 (22年7校36名。21年5校30名 20年度5校62名 53日間) <p>(2)施設利用数:1800名 (22年1694名。21年1053名。20年度779名)</p> <p>(3)ご来所デモのための資料充実、魅力的なチャリティグッズの作成予定(22年度:トートバッグ)</p> <p>(4)学院:1名入学 (22年入学制3名のうち1名がスタッフ採用。2019年、2021年度の研修生の中から1名ずつが日本聴導犬・介助犬訓練士学院12期、14期の入学。スタッフに採用)</p> <p>(5)社会貢献:シニア・サポート犬の調査および育成事業の継続。予算付けも行う</p>
III	<p>社会福祉事業:聴導犬・介助犬認定</p>
1	<ul style="list-style-type: none"> ・認定試験実施:3名予定(22年度:3月13日 チーム合格予定) ・兵庫県依頼で認定委員を担当
2	<ul style="list-style-type: none"> ・他団体からの認定試験→ なし
3	<ul style="list-style-type: none"> ・日本聴導犬協会の認定試験は年2回(5月か10月と2月)の2度試実施したい
IV	<p>社会福祉事業:候補犬の確保</p>
4	<p>「聴導犬候補犬ネットワーク」。全国20カ所(宮古島の動物保護団体が参加)。</p>
5	<p>繁殖計画 英国聴導犬協会に研修実施済み。優良な候補犬が見つかり次第開始。</p>
6	<p>新候補犬:7頭 (22年度:7頭:あつ、はじめ、なる、かな、まい、はく、るみ)</p> <p>新家族:8頭 (22年度:5頭:ちこ、のぞみ、たける、のこ、はる、)</p>
7	<p>関係諸動物愛護団体との相互リンク→未定</p>
V	<p>社会福祉事業:聴導犬・介助犬のユーザーリクルーティング</p>
8	<ul style="list-style-type: none"> ・実施できませんでした。各地の聴力情報センターでのリモートデモへの協力依頼 →(すでに犬を飼っている聴覚障害の方にも「聴力ペットお手伝い犬」を進め、聴導犬に繋げていく)
9	<p>V:『全日本聴導犬ユーザーの会』との協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国15カ所で実施予定(22年度:2回 子ども手話教室(八王子)。高齢者障害者雇用促進(台場)

10	<p>VI: インターネットの活用</p> <p>(1)現状:SNS での展開:Facebook などにスタッフ4名と学院生が参加し SNS を盛り上げます</p> <p>Facebook 日本聴導犬協会: 21348 いいね (21年 21523 いいね)</p> <p>Facebook 有馬もと:トモダチ 1938、フォロワー2,343 (21年友達1915)</p> <p>Facebook 日本聴導犬・介助犬訓練士学院 2035 (21年 2026 いいね)</p> <p>Facebook 補助犬&補助犬候補犬&キャリアチェンジ犬の幸せ:678 達成 (21年 518 いいね)</p> <p>Facebook:補助犬(盲導犬・介助犬・聴導犬)ユーザーの会」と応援団: 1159 達成 (1126 メンバー)</p> <p>インスタグラム hearingdogfordeaf:486 達成 (21年 399 フォロワー)</p> <p>Twitter(福)日本聴導犬協会:1637 達成 (21年1556 フォロワー)</p> <p>・ベンチマーク(メルマガ):1200 達成 (21年 1029 宛先向け)</p> <p>・その他、月1回の Live 発信を実施できませんでした</p>
VI	クラウドファンディング&助成金・補助金 (2022年度実績:14330570円)
13	<p>・育成委託事業:1頭150万円予定 (22年度は0円。21年度 愛知県2頭分300万円)</p> <p>(1) CF:総計:1,000,000円予定</p> <p>(参考:22年度 11,690,570円 3回のCF)</p> <p>①シンカブルでバースデイドネーション</p> <p>・300,265円:6月~「進行性の眼病のために候補犬から PR 専門犬ひめ」</p> <p>・362,166円:10月~「13歳と15歳。医療費支援のお願いです PR 犬続けたい! らんちゃん とボクのために」</p> <p>②Campfire :</p> <p>・11,025,747円:10月~「命と才能を輝かす! 保護犬&譲渡犬を「聴導犬&介助犬」に育て、障がいを支えたい」(21年度 10,133,393円))</p> <p>(2)補助金&助成金:5,000,000円</p> <p>(22年度 2,640,000円:※内訳:赤い羽根募金:2,240,000円(スタッフ用シャワー室改造)。霞会館助成:300,000円(自走、電動車椅子2台) 宮田村:助成金100,000円)</p>
VII	教育への寄与
14	<p>◆日本聴導犬・介助犬訓練士学院</p> <p>23年度15期生1名入学。</p> <p>(22年14期生:3名うち1名スタッフ採用。21年13期生:3名入学うち1名スタッフ採用予定でしたが、精神的に不安定のためご本人が断念)</p>
15	<p>・職場体験&研修生受入れ:8校50名</p> <p>(22年7校36名。21年5校30名:中学校&大学&専門学校等)</p>
VIII	公益事業:普及活動
16	<p>I:講演会&講義</p> <p>(1) 講演会:50回 (22年26回。21年35回)</p> <p>(2) 学校関係講義&Zoom講義:5カ所 (22年3カ所。21年4カ所)</p> <p>(3)施設利用数:2000名 (22年1694名:含学院754名。21年1053名)</p> <p>(4)ご来所デモのための資料充実、魅力的なチャリティグッズとして トートバッグ作成</p> <p>(5) 学院へのリクルーティング:(21年度の研修生の中から、研修生2名様が日本聴導犬・介助犬訓練士学院12期、14期生に入学)</p>
IX	パブリシティ
17	I: SNS を活用した

	<p>(1) 資金調達:小規模FCにより23年100万円(22年度 Goodmorning 日本聴導犬協会:11,690,570円) 他、波及効果として➡ ① 物品支援増加 ② 新規支援者増加 ③ 取材増加につながりました。</p> <p>(2) 定期支援 GoodMorinig 日本聴導犬協会コミュニティ:30名(22年19名。21年17名)</p> <p>II:実施済み➡図書:企画を出版社に持ち込む</p> <p>III:実施済み➡動画配信を行う予定 youtube や Zoom などを利用して発信</p> <p>IV:獣医向けDVD 販売継続中</p> <p>V:インターネット寄付:貴金属、ゲームなどの買取り</p>
X	支部&事務所の運営
18	<p>I:関西事務所:支部候補地探しは、中断</p> <p>・施設長:Y様。訓練業務委託:1。</p> <p>① 利用数:20回(22年5回)</p> <p>・ユーザー訓練&アフターケア:5回(22年0回。21年0回)</p> <p>・希望者面接:5回(22年0回。21年0回)</p> <p>・パピークラス:5回(22年1回。21年2回)</p> <p>・講演会など:1回(22年1回。21年3回)</p> <p>・犬ケア:0回(22年0回。21年6回)</p> <p>・取材:2回(22年0回21年1回)</p> <p>その他:2回(22年0回)</p> <p>(※支部のための施設準備金として約3000万円を積み立てました。関西支部の契約ができるまでになっていたのに、途中で、契約が中断されたことが「塞翁が馬」だったと、感謝しておりますが、時期がきたら、再開予定)</p>
19	<p>II:東京支部(創設:2018年2月～)</p> <p>・構成:施設長:M(社会福祉法人施設長資格取得)。業務委託:M</p> <p>① 利用件数:100回(22年34回78名)</p> <p>・ユーザー訓練&アフターケア:50名(22年78名。21年7名)</p> <p>・希望者面接:10回(22年5名。21年0回)</p> <p>・パピークラス:12回(22年12回、21年10回)</p> <p>・講演会:5回(22年0回。21年1回)</p> <p>・犬ケア:3回(22年0回。21年15回)</p> <p>・取材:20回(22年11回、21年3回)</p> <p>・その他(経理。労務など打合せなど)2回(22年0回21年4回)</p> <p>(2) 候補犬の社会化&訓練</p> <p>認定試験まじかの聴導犬希望者の訓練および乗車訓練、飲食店訓練などを実施。毎月のパピークラスの実施時の拠点。勉強会にも使用予定。</p>